



February 2018

Newsletter

第 22 号

理工学系技術部広報誌

平成 30 年 2 月 6 日発行

第 6 回北関東地区技術職員安全管理ワークショップ

平成 29 年 9 月 21 日（木）に 1 号館 4 階第 1 会議室において第 6 回北関東地区技術職員安全管理ワークショップを開催しました。このワークショップは、大学等で安全管理業務に携わる技術職員が日常の業務で蓄積した情報の交換や討論を通して技術や知識を高めるとともに職員間の交流を深めることを目的として、埼玉大学・茨城大学・宇都宮大学・群馬大学の技術職員有志により発足しました。平成 29 年度は 6 回目の開催となり群馬大学が幹事校として行いました。外部から 9 機関 21 名（埼玉大学 4 名、宇都宮大学 3 名、茨城大学 3 名、筑波大学 2 名、新潟大学 1 名、長岡技術科学大学 2 名、群馬高専 2 名、小山高専 2 名、茨城高専 2 名）、内外合わせて 38 名の参加がありました。

安全衛生管理の取組みとして「埼玉大学安全管理プロジェクト活動報告」、「宇都宮大学における安全管理に関わる技術職員の役割」、水銀廃棄物の対応については群馬大学で 6 月に行った報告の他に「筑波大学における水銀廃棄物の対応について」発表がありました。意見交換会では化学物質のリスクアセスメントへの状況説明と対応、

特に安全データシート（SDS）の作業現場への掲示についての対応は群馬大学でもまだまだ未対応な部分もあり非常に有意義な情報が得られました。また水銀使用物の廃棄に関しては対応が行われていない機関より製品回収状況や取扱い廃棄業者の情報など活発な意見交換が行われました。

（文責：安全衛生グループ 薊）



「群馬大学理工学系技術部第 16 回技術部発表会」開催報告

平成 29 年 9 月 7 日（木）理工学部プロジェクト棟において理工学系技術部第 16 回技術部発表会を開催しました。この発表会は技術職員の業務や様々な支援活動などへの取り組み等について毎年開催しているものです。会場となった P203 教室では、学長を始めとする来賓、教員の他、本学医学部、生体調節研究所、茨城大学、埼玉大学、筑波大学、群馬高専の技術職員も合わせて 58 名の参加で行われました。

内容としては、統括技術長の開会挨拶、平塚学長、関理工学部長の来賓挨拶からはじまり、理工学部技術職員の業務に関する発表、生体調節研究所や群馬高専の技術職員からの発表も含めて 6 件の口頭発表と、5 件のポスター発表がありました。

特別講演は 2 件あり、ひとつは現在本学で活躍されている次世代モビリティ社会実装研究センター副センター長の小木津武樹先生に「自動車の自動運転に関する取り組み」として特別講演をしていただきました。最先端の研

究について非常にわかりやすい講演で、話し方を学ぶという点でも有意義な講演であったと思います。もうひとつは、埼玉大学研究機構総合技術支援センター統括技術長の齋藤由明氏による「埼玉大学 総合技術支援センターの紹介」と題して、埼玉大学における技術職員活躍の模様を紹介していただき、同じ技術職員として大変参考になる話を聞くことができました。また、今回初めての試みとして軽食を用意しての昼食を兼ねた交流会を行いました。技術職員は普段職場が分散しているために会話する機会の少ない環境という点と、学外からの多くの方が来られたこともあわせて、技術交流・人的交流を図る良い機会になったと感じています。

プログラムの後半では、今年度で定年退職する技術職員の記念講演に引き続き、新しく採用された技術職員の自己紹介が行われ、技術部における世代交代が見られる場面でもありました。現在の技術部は、毎年定年退職にもなつて新たな技術職員が採用されつつある状況にあり、

人材育成が大きなテーマであることは、間違いありません。そういった点からも、今後もこの技術部発表会をより充実したものにしてゆきたいと考えています。また、技術

部のことを知っていただくためにも、より多くの方の発表会への参加を願っています。

(文責：尾池)

機械センター部門による学生向け技術・安全講習会について

理工学系技術部の研修委員会では、毎年部門毎に「学生向け技術・安全講習会」を実施しており、今年で4年目の開催となりました。機械センター部門では平成29年8月30日(水)、10月5日(木)の各日13:30~18:30 桐生キャンパスのマシンショップ(機械工作室)にて、「初心者のための機械加工基礎講習(ボール盤/フライス盤)」と題する講習会を開催しました。

まず初めに機械加工初心者のための座学による機械の説明と安全講習等を行い、次に実際に工作室にある機械の説明、今回使用するボール盤、フライス盤の操作方法の説明の後、実技による実習形式の講習会としました。機械加工の基本技術を講義と実技を通して学習し、合わせて機械加工の安全等を学び、機械加工の難しさを体験させるだけでなく、何かを作り出すことの楽しさも合わせて体験してもらうことを目的としました。

講習は、講義30分、実技4時間30分の日程で行いました。今回の講習会で実際に使い方を学んだボール盤、フ

ライス盤とは、機械加工において基本となる工作機械であり、様々な金属加工等を行える汎用的な機械のため、今後研究室等で機械加工を行う際には、今回の学んだことを生かして加工ができると思われま

す。参加者は、ボール盤とフライス盤を使用して世界に一つだけのスマートホンスタンドを製作しました。参加学生は、理工学部、理工学府の学生を対象に定員20名で募集し、学部生5名、院生2名の合計7名となりました。アンケートに寄せられた参加者からの意見より、本講習によるものづくりの一連の流れを経験したことで、今後の就職活動や就職後のものづくり業務に役立てることができるとの回答があり、今後もこのような講習を実施できるよう努めていきたいと思

います。この場をお借りして、研究室内の学生へ講習案内のアナウンス等ご協力を戴きました教員の方々、事務系職員、技術職員の方々のご支援とご協力に感謝申し上げます。

(文責：齋藤)



講習会の様子



製作したスマートホンスタンド

技術相談窓口について

技術部では技術相談窓口を設けて、先生方からの様々な相談を承っております。各部門にいろいろな分野の技術職員がいますので、是非お悩みの際は、お近くの技術職員または、下記アドレスまでご連絡をお願いします。

技術相談窓口宛：tsk-senmon@ml.gunma-u.ac.jp

